

子育てチャンネル



私は、旭川で放課後の小学生が集まって来て一緒に遊ぶ場所を主宰しています。

この時期、子供たちに人気がなのが「きのこ採り」です。いつもの散歩コース

である神社や公園、河川敷にもその日によっていろんなきのこが出ていて、中にはハタケシメジやヒラタケなど、優秀な食菌といわれるきのこが本当に身近で手に入りま

す。

きのこは採ってきて、もちろんおやつ味噌汁や炒めものにしていただきませう。子供たちにはこんなおやつが大人気なのです。

そんな秋の土曜日、路線バスに乗って親子で突硝山（旭川市と比布町の境界にある山）に行きました。山

きのこ鍋の日

で採ったきのこをその場で調理して食べる「きのこ鍋の日」という行事です。

子供たちの会話。「ねえ、これってタマゴダケだよね」。

「何年前か前、タマゴダケとタマゴダケモドキを間違えて、中毒になったって新聞に出たよな」。

「色とか柄とかぜんぜん違うのになあ」。

「去年ムラサキシメジたくさん採ったけれど、今年はまだ早いみたいだなあ」。

「これも地球温暖化の影響かね〜」。

そうなんですよ。きのこ採りは、もうかれこれ10年は続けています。かなり本格的です。

キシメジ、ヤギタケ、ヤマイグチ、ハツタケ、ホテイシメジ、ポリポリ…。

これをみんなで洗って切

って、それぞれに持ち寄った「きのこ鍋に入りたいと思う一品」と一緒に煮込んで、きのこ鍋の完成！

うまい！これがほんとにうまい。きのこ嫌いと言っている子供まで、みんな一緒にぺろりと食べてしまっただけなのです。

山歩きに慣れていない父母の皆さま方も「疲れたあ」「もう歳だあ」と言いつつ「しあわせだねー」と目を細める。みんなニコニコです。

自分たちが積み重ねていく生活のおもしろさと、それに伴うエピソードが味をよりおいしくしてくれるという実感！ 幸せって結構近くにあるものです。

児童クラブ「ホロホロ」主宰

谷地本 雄一



私のスキなもの
「キノコ」
「キノコ」
「キノコ」
「キノコ」



私のスキなもの
「キノコ」
「キノコ」
「キノコ」
「キノコ」

——— 幼児センターの子どもたち ———